

平成 28 年度第 6 回理事会議事録

日 時：平成 28 年 11 月 12 日(土) 10:00～11:45

場 所：鳥取大学医学部附属病院 3 階検査部カンファレンス室

出席者：植嶋、湯田、岡田、原、西村、佐々木(崇)、野上、国政、中井
下廣、片岡、那須野、河上、山岡、北野

欠席者：木下、先灘、藤原、佐々木(豪)

議 長：植嶋

記 録：河上

議事録署名人：原、野上

議 事

議題 1 全国「検査と健康展」について

- ・ 11 月 13 日に予定していたが鳥取県中部地震により一旦中止することにした。
 - ・ 日臨技に 11 月中に開催しなければならないか確認したところ、平成 29 年 2 月までに開催すれば良いとの返答だった。
 - ・ 会場確保が困難なことなどから中部での開催は困難。現在イオンモール鳥取北店で開催できないか交渉中。開催できる場合であっても、会場の都合上、内容について再度検討が必要となる（面積などの関係）。
- 以上、現状の報告があり検討した結果、2 月までに開催するよう方針を決定した。

議題 2 賀詞交歓会について

1 月 21 日(土)中部にて開催予定（生物化学部門研修会に合わせるかたちで開催）

議題 3 第 68 回日本医学検査学会（平成 31 年度開催）について

第 68 回医学検査学会は中四国地区が担当となるため、中国四国地区で全国学会を開催していない県（高知・山口・鳥取）が担当してはどうか、という中四国支部長の意向があり、当会担当を検討した。

- ・ 県内では会場のキャパシティが無い（全国学会の参加者数は約 4000 人程度）。
- ・ 県外実施の場合は、会場となる県技師会の協力が不可欠となる。
- ・ 通常平日開催されるが、平日にスタッフとして県外にでなければならないため、現実的でない。

以上のような理由で開催県に希望しないほうが良いとの提案があり、大多数の理事が賛成し、“開催県に希望しない”方針を決定した。

議題 4 その他

①鳥取県中部地震の被災状況について

- ・ 中部地震による各施設の被災状況調査について、一部まだ報告がない施設もあるがほぼ出揃った。
- ・ 現時点で 10 名程度の会員が被災している。
- ・ 日臨技には、災害共済金の制度があり申請（罹災証明書の添付必須）があれば、被災状況に応じた見舞金が支給される。
- ・ 当会としても、罹災証明書があれば見舞金(1 万円程度)を出してはどうかとの提案があり、支給することを理事会決定した。

②災害対応について

今回の震災から、いくつかの反省点や問題点について議論した。

- ・もっと積極的に被災者支援を行っていくべきではなかったか。
- ・支援要請を待つのではなく、何が出来るか情報発信するなどのアクションがあっても良かったのではないか。
- ・検査技師のニーズは災害発生直後ではなく、被災住民のその後のフォローにある。
- ・医師会だけでなく県などの地方自治体とのパイプが必要。(災害時ではなく、平時から災害発生時に鳥臨技として何が出来るか、アピールしていく必要がある)
- ・LINE などの SNS を利用した会員同士の情報網の整備。

③会費について

- ・公益目的残額が今年度で0円となることから、今後会費の値上げを考えていかなければならなくなる。
- ・日臨技から研修会助成金事業が継続されれば、参加費無料を継続できる。
- ・会費値上げについては、研修会参加費無料を継続することで会員に説明しやすくなると思われる。
- ・早期に方針を決定して、会員に周知していく。

④来年度事業計画

年末が近づいているので、各部門の来年度の事業計画を立てて欲しい。

次回理事会:未定

以上をもって議事を全て終了し、11時45分に閉会した。

この議事が正確であることを証するため、議長および議事録署名人は次に署名、捺印する。

平成 28 年 11 月 12 日

議 長 植嶋 輝久 ⑩

監 事 山岡 貴子 ⑩

監 事 北野 岳之 ⑩

議事録署名人 原 文子 ⑩

議事録署名人 野上 智 ⑩